

京の伝統野菜 淀大根の収穫

東一口地区の周辺では、特産の京の伝統野菜「淀大根（聖護院大根）」の収穫が12月から行われています。辛みのない甘い大根は、炊いてもサラダにしてもおいしいことが特徴で、「今年の収穫は順調で大きさもちょうどいい」とのことで、収穫作業は3月上旬まで行われます。



▲太陽の光を浴びて輝く淀大根

炎に無病息災を祈る 東一口のとんど

1月9日、東一口の大池神社近くの田んぼで、正月の松飾りなどを焼く「とんど」が行われました。とんどは「左義長」とも呼ばれ、東一口のとんどは、京都府無形民俗文化財に登録されています。夜明けとともに点火すると炎がふきあがり、周囲で見守る地域の人たちはその炎に無病息災を願いました。



▲点火前のとんど

久御山高校1年生 まちの課題解決の最終発表



▲発表会には町職員も訪れました

久御山高校の1年生が「総合的な探究の時間」で取り組んだ「久御山町を題材に身近に感じる課題解決」を考える取組の成果発表会が12月23日に行われました。1年生の全生徒約260人が見守る中、代表の7グループの生徒がテーマごとに情報収集や検証を行い、課題解決などの提案をしました。

農作物の豊凶を占う 雙栗神社で粥占神事



▲粥の詰まり具合を確認する宮総代ら

1月15日、雙栗神社で粥占神事が行われました。この神事は竹管を釜に入れ小豆粥を炊き、管の中の粥の詰まり具合で農作物の豊凶を占います。今年は、早稲七分、中稲九分、晩稲五分、綿九分、大豆三分、芋六分、黍四分、梨五分となり、「初秋は安泰だが晩秋にかけて自然災害に注意」と判定されました。